

○令和4年3月31日をもって第3期の指定管理期間を満了することとなります。池田町に事業報告を行うとともに、来期の事業計画を作成し、4期目となる「指定管理者申請書類」を提出しました。
○新型コロナウイルス、自然災害等に対する事業継続計画（BCP）を基に、安心・安全な就業環境となるよう整備します。

1 収入

①稼働率（％）

| | 元年度 | 2年度 | 前年差 | 3年度 (見込) | 前年差 | 4年度 (計画) | 前年差 |
|-----------|------|-------|-------|-------------|------|-------------|------|
| 特養 | 99.8 | 99.9 | 0.1 | 99.2 | -0.7 | 99.0 | -0.2 |
| 短期入所 | 91.0 | 91.7 | 0.7 | 90.9 | -0.8 | 91.0 | 0.1 |
| 居宅介護支援 | 81.4 | 60.0 | -21.4 | 56.2 | -3.8 | 56.0 | -0.2 |
| グループホーム | 97.8 | 98.2 | 0.4 | 97.2 | -1.0 | 97.0 | -0.2 |
| 小規模多機能 | 98.3 | 100.0 | 1.7 | 99.6 | -0.4 | 99.0 | -0.6 |
| 高齢者福祉センター | 30.0 | 30.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 | 30.0 | 0.0 |
| サ高住安寿ホーム | 96.0 | 95.5 | -0.5 | 96.0 | 0.5 | 96.0 | 0.0 |

(現状と対策)

【全般】 経営的には前年度収入の維持に努める。運営的には徹底した感染対策に努める。
施設サービスではご利用者への感染防止に全力を注ぎ、在宅サービスでは細心の気配りを怠らず、代替えサービスを実施する。
職員が安心安全な業務が行える環境の構築に努める。

②要介護度

| | 元年度 | 2年度 | 前年差 | 3年度 (見込) | 前年差 | 4年度 (計画) | 前年差 |
|---------|-----|-----|-----|-------------|-----|-------------|-----|
| 特養 | 4.0 | 4.1 | 0.1 | 4.1 | 0.0 | 4.1 | 0.0 |
| 短期入所 | 2.5 | 3.0 | 0.5 | 3.2 | 0.2 | 3.2 | 0.0 |
| 居宅介護支援 | 1.8 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |
| グループホーム | 2.3 | 2.3 | 0.0 | 2.3 | 0.0 | 2.3 | 0.0 |
| 小規模多機能 | 1.5 | 1.8 | 0.3 | 1.8 | 0.0 | 1.8 | 0.0 |

2 支出

①人件費率

(事業活動収入、人件費：単位：千円)

| | 元年度 | 2年度 | 前年差 | 3年度 (見込) | 前年差 | 4年度 (計画) | 前年差 |
|--------|---------|---------|-------|-------------|-------|-------------|-------|
| 事業活動収入 | 289,966 | 296,268 | 6,302 | 303,135 | 6,867 | 306,327 | 3,192 |
| 人件費 | 185,710 | 188,609 | 2,899 | 197,215 | 8,606 | 204,283 | 7,068 |
| 人件費率 | 64.0% | 63.7% | -0.4% | 65.1% | 1.4% | 66.7% | 1.6% |

(現状と対策)

・人件費率：4月より新卒2名、パート職員1名増員のため人件費が増額。
全職員78名（正職員27名、パート職員51名）で計上。（内、産休1名）
（当施設は、調理・洗濯・掃除等すべて自前で運営）
現在マンパワーは充足してありますが、積極的な求人活動は継続します。

②その他経費（単位：千円）

| | 元年度 | 2年度 | 前年差 | 3年度 (見込) | 前年差 | 4年度 (計画) | 前年差 |
|-------|--------|--------|-----|-------------|--------|-------------|------|
| 水道光熱費 | 13,783 | 14,465 | 682 | 15,172 | 707 | 15,000 | -172 |
| 修繕費 | 3,539 | 3,691 | 152 | 2,315 | -1,376 | 3,000 | 685 |
| 介護用品費 | 2,739 | 2,987 | 248 | 2,751 | -236 | 2,800 | 49 |

(主な投資)

「感染症対策」として安心して業務が行え、安心安全な生活が継続できる環境に改修を行う。

- ①特養個室の増設(2室→6室) ②静養室の増設(1室→3室) ③職員休憩室の新設(2ヶ所)
- ④障害者用トイレの増設(1か所→3か所) ⑤職員更衣室の新設(2カ所)

※特養改修費用及び備品購入費用(45,300千円程度)

利用者が生活している中での改修となる為、工期は長くなり、費用は更に高くなる

「介護負担の軽減」として介護ロボット等の購入を引き続き行います。

- ①ナースコールを次世代型に入れ替え、介護ソフトと連動スマートフォンから記録を行う。
- ②見守りセンサーを増台し、スマートフォンで映像の確認を行い、事故リスクを減らす。
- ③多機能電話を入れ替え、玄関等のドアの開閉を映像で確認スマートフォンで行う（全出入口をオート）
- ④食堂を特養の中心に整備し、見守りの強化を図る。

※ナースコール次世代型(10,000千円)・ビジネスフォン(4,800千円) リースで対応

「安心・安全な生活」を継続するための対策

- ①災害時に電源供給できる送迎車両に入れ替え（トヨタノア 3,246千円） リースで対応
- ②老朽化した電気設備の改修（高圧開閉器・CVケーブル等）を検討（700千円）

3 人材の採用、定着、育成

- ①採用に関して、まずは魅力のある施設づくりに努め、発信していきます。
- ②新人職員教育の充実を図る。今以上に業務の標準化（入浴・食事・排泄等）に努めます。
- ③「業務の効率化」介護ロボット等の最新機器を導入し介護記録電子化等、業務の効率化に努めます。

4 利用者サービスの質の向上

- ①「尊厳を支えるケア」・・・利用者様一人ひとりの個性・主体性・可能性を尊重して、尊厳を支えるケアを実現します。
- ②「機能訓練強化」・・・日常生活を営むために必要な機能の改善および減退防止のための訓練を今以上に実施します。
- ③「事故防止対策の強化」・・・各事業所で事故ゼロを目指すため、事故後の対応を徹底し再発防止に取り組みます。

5 地域における公益的な取組

- ①地域の資源・機能を活用し、地域共生の実現に向けて取り組みに努めます。
- ②各種災害用品や感染予防用品等を揃え、地域の方の安心支援対策にも取り組みます。

6 年間行事(事業所合同行事)

※感染症発生状況により変更あり

| 4月 | 5月 | 6月 | 7月 |
|------------|--------|---------|------|
| 桜花見会(敷地の桜) | 西山公園散策 | ミニ運動会 | 納涼祭 |
| 8月 | 9月 | 10月 | 11月 |
| 故郷訪問(墓参り) | 敬老会 | 武生菊人形見学 | 文化祭 |
| 12月 | 1月 | 2月 | 3月 |
| クリスマス会 | 新年会 | 節分豆まき | ひな祭り |

○幸寿苑らしい行事

| | |
|------------------|------------------|
| ・裏庭のふき採り作業 | ・野菜収穫(じゃがいも・大根等) |
| ・近所の梅収穫作業 | ・花火大会(幸寿苑中庭) |
| ・梅干し、梅ジュース作り | ・流しそうめん(幸寿苑中庭) |
| ・魚釣り大会(裏庭にイケス設置) | ・しめ縄作り |

○定期的な行事

| |
|---------------------|
| ・家族交流会(年2回開催) |
| ・定期健康診断、インフルエンザ予防接種 |
| ・避難訓練(年2回以上実施) |
| ・毎月行事 誕生会、故郷訪問、法話会等 |

7 理事会への報告事項(理事長専決事項は全て記入)

- ・特殊浴室改修 6,955千円
- ・特殊浴槽購入 5,478千円(内 1,370千円は補助金収入)
- ・介護ソフトライセンス更新 5,834千円